紫豊館だより 秋号

今回のタイトルは書道クラブ参加者のケアハウス芦田保子様に書いていただきました

ホームページ

SANHIRUZUZILIGUAN

インスタグラム

・発行・

社会福祉法人　成光苑　サンヒルズ紫豊館

〒620-0962　福知山市字榎原小字平180番地の2

TEL（0773）34-0557・FAX（0773）34-0404

E-mail：sihokan@onyx.dti.ne.jp

ホームページ：https://swc-seikouen.jp/shihoukan/index.html

発行日：2022年11月

まごころと思いやりを大切にそして地域に愛される施設づくりを目指します

敬老式典・祝賀会

令和４年度の敬老式典・祝賀会を９月 25 日に開催しました。コロナ感染拡大予防の為、本年度もご家族、ご来賓の参加を見送り、規模を縮小して執り行いました。

「卒寿７名、米寿３名、傘寿１名」のご利用者が節目を迎えられました。また田邊ちゑ子様が百一歳のご長寿を迎えられ施設最高齢となられました。

祝賀会では赤飯・天ぷら・お刺身などが盛り付けられたお弁当を味わって頂きました。ご利用者は「おいしいな」と笑顔で召し上がっておられました。

その後、職員によるテンポの良い音楽に合わせたダンスの余興があり、和やかな雰囲気の中で行うことが出来ました。

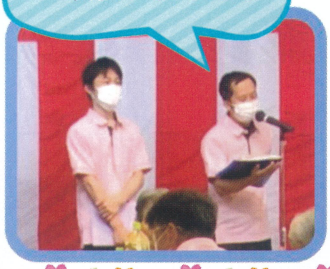
ご利用者
招待状

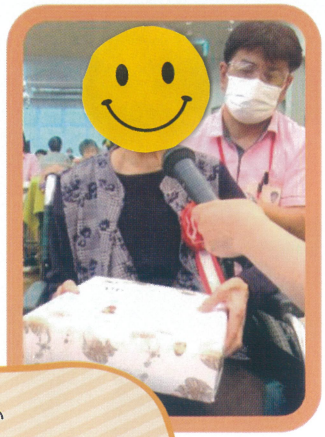
ご利用者席札
鶴を開けてビックリ！！
ラムネのプレゼント

笑顔でポーズ

美味しい食事に舌鼓

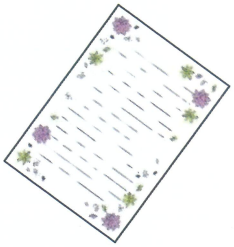
不慣れな司会
頑張りました！





節目のお祝い
おめでとうございます！！

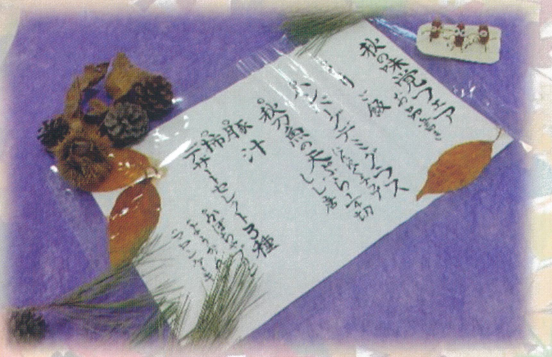
節目を迎えられたご利用者のお祝いをご家族と一緒に出来ない為、お祝いのメッセージを伝えていきたいと計画し、ご家族より動画やメッセージを頂きました。またご自宅で過ごされていた写真をお借りして映像に入れさせて頂きました。日頃の想いやコロナが終わって会いたい気持ちなどご家族それぞれの想いがありました。



秋の味覚フェア

10 月 21 日、昼食の時間を利用して「秋の味覚フェア」を開催しました。メイン会場の食堂では、鉄板でハンバーグを焼いたり、さつま芋を蒸篭蒸しにしたりといったパフォーマンスを行い、目で見て楽しく、香りで食欲を誘って、食べて美味しい、そんな味覚フェアとなりました。ご利用者も、「美味しい」と話され、おかわりをされていました。普段見られないパフォーマンスに釘付けになっておられました。デザートは、マロンケーキ、羊羹、かぼちゃプリンの中から選ばれ、紅茶やコーヒーと一緒に楽しんで頂きました。

食事の後は、職員による余興です。業務の合間を縫って歌と踊りを練習した「お祭りマンボ」を披露し、会場は大いに盛り上がり楽しい時間を過ごして頂きました。

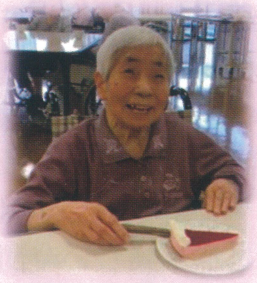


デイサービスでは、ホール内キッチンにて、てんぷらを揚げ、さらに蒸篭を使い音と香りを楽しんで頂きました。ご利用者の一人は、「てんぷらは家でできないのでとても嬉しかった」と喜んでおられました。お食事の後は、職員による余興、歌と踊りでご利用者と職員が一体となり大変盛り上がりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、デイサービス個別での開催となりましたが、職員の奮闘により楽しい一日となりました。

特集

お誕生日おめでとうございます



ご利用者の誕生日には施設からイチゴのムースケーキを出させて頂いています。職員や周りのご利用者から「おめでとう」とお祝いの言葉がかかると、素敵な笑顔を見せて下さいました。

ケーキを目の前にされると写真撮影よりも「早く食べたい」といったお声が聞かれていました。

デイサービス日誌

稲刈り＆籾摺り体験

5月に植えたお米の苗も無事成長し、9月に稲刈りを行い、脱穀、籾摺り作業をご利用者の皆様に体験して頂きました。籾摺り体験では、使用する道具を見て驚き、「これでできるの、お米つぶれないの？」と話されていました。実際にすり鉢と野球ボールで体験すると、「お米になった！」と大変喜ばれておりました。

夜間避難訓練の実施

9月9日、施設にて夜間避難訓練を実施しました。今回の訓練は地震発生により火災が発生したという想定での訓練を行いました。火災想定場所を工夫することで、避難場所を2か所に分けて点呼を行い、最終避難されたご利用者を集約するという形で行いました。避難の手順や緊急連絡の方法など知っていますが、火災報知機を使用したとの通話や消防署と緊急電話を使用する方法、また避難方法などの手順を確認しました。

避難訓練と合わせて防犯研修も実施しました。榎原の駐在所の方に来てもらい話を聞かせて頂きました。不審者を発見した時は複数人で対応し、「距離を空ける」、必要と思われたら110番通報を行い、助けをも求めることが重要であると学びました。

近年たくさんの災害が各地で起こっているのを耳にする中で、職員全員が有事の際にしっかりとした意識の中で対応できるように今後も訓練に取り組んで行きたいと考えております。

書道クラブの実施

毎月、開催していた書道クラブですが、コロナ禍の感染状況に考慮した開催となっています。今回はケアハウスご利用者を対象にした書道クラブを開催しました。短い時間でしたが、参加されたご利用者はお手本を見ながら丁寧にに文字を書いておられました。ご利用者も「久しぶりにして楽しかった」と話されていました。